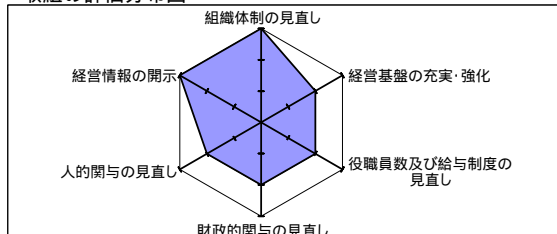


出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	十分達成している
経営基盤の充実・強化	ある程度達成している。
役職員数及び給与制度の見直し	ある程度達成している。
財政的関与の見直し	ある程度達成している。
人的関与の見直し	ある程度達成している。
経営情報の開示	十分達成している

1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

(1) 組織体制の見直し

【評価: 十分達成している】

平成15年度に3団体の統合により事業の効率化を図って以来、18年度においては新たに人工授精師協会の事務を受託するなど、畜産に係る事業の一体化、合理化に取り組んでいる。職員の研修会への参加は、財政状況が厳しいことから、計画に比べ低い実績となったが、参加研修会の取捨選択を徹底することにより、職員のレベルアップに努めることができた。

【18年度2次評価に対する対応】

業務内容が多岐にわたる中、新たな委託事業を既存の事業と有機的に結びつけることにより、効率的・効果的な組織体制作りを努めている。

(2) 経営基盤の充実・強化

【評価: ある程度達成している。】

国、県、地方競馬協会等の補助金・助成金の大幅な削減に伴い、経費節減を図るなど、効率的・効果的な事業執行に取り組んだことにより、収支比率はほぼ計画を達成することができた。また、運用収入もほぼ計画どおりであった。

【18年度2次評価に対する対応】

受益者負担については、現在のところ事業で定められた負担を求めているところである。管理経費の削減については、職員のコスト意識を高めて節約に努め、実施事業についても事業効果の高いものを選択するなど、効率的・効果的な執行に努めているところである。

(3) 役職員数及び給与制度の見直し

【評価: ある程度達成している。】

職員については、事業の多様化、事務量の増大などに対応した適正な人員配置に努めている。人件費についても厳しい状況ではあるが、臨時職員に対する給与改善に取組むなど評価できる。

【18年度2次評価に対する対応】

厳しい経営環境を踏まえ、業務内容や経営状況の実態に応じた職員数の見直し及び職員の業務分担の適正化に取り組んでいる。

2 県の関与の適正化に向けた取組

(1) 財政的関与の見直し

【評価: ある程度達成している。】

畜産の経営安定対策に係る生産者積立金に要する経費に対する助成は適正に行われている。また委託事業は、その効果や効率性を精査し、協会がもつ専門的な知識、技術及び経験を活用したものとなっている。

【18年度2次評価に対する対応】

県が関与している事業の効果や効率性等について精査し、実施事業内容の選択と集中を行っていることから、適正な事業の推進を維持しつつ、県財政支出依存度は減少傾向にある。

(2) 人的関与の見直し

【評価: ある程度達成している。】

県退職者の職員就任状況については、現在、業務に必要な専門知識を有する適任者が就任している。

3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

【評価: 十分達成している】

ホームページにより財務諸表や業務内容及びイベント情報等、必要な情報及び有益な情報を幅広くかつ最新の情報をより早く公開することに努めており、取組みは順調である。

4 総合的評価

当該法人は、国及び県の施策を補完的に遂行する組織として畜産分野における経営、価格、衛生等に係る総合的な指導、支援に関する業務を行うことにより、県内の畜産の発展に多大に寄与しているところである。しかし、補助金等が年々減少し、当該法人の経営環境は厳しさを増していることから、組織体制や事業の見直し、管理経費の削減に取組み、効率的・効果的な業務の執行に努めている。

また、当該法人は行政を補完して業務を行うものであることから、所管課としては連携を密に取ることにより事業の成果や効率性等を把握・検証し、その結果を踏まえて、畜産農家及び消費者等によってより高い効果が得られるよう、適正な事業展開に取り組んでいる。